

サンゴの大規模白化現象に関する緊急宣言

平成29年4月23日サンゴ大規模白化緊急対策会議

- 2016年に極めて深刻な大規模白化現象が発生。今後、平均気温上昇により白化頻度増加、回復力低下、サンゴ消滅の可能性。
 - 大規模白化を防ぐには、温室効果ガスの削減等の**気候変動の緩和**が不可欠→パリ協定の目標達成に向けた取組の推進
 - 白化現象からの回復を図るには、人為的圧力低減等の**気候変動の影響への適応策**が重要→地域における取組の推進

推進すべき取組



➤ 緊急性の高い取組

1. モニタリングの推進

- 1.1 2016年の白化被害状況の把握
- 1.2 白化現象の予測手法確立・体制構築
- 1.3 モニタリングの効果的継続的实施
- 1.4 国際的な情報共有

2. 優先的に保全すべき地域の特定及び対策の検討

- 2.1 影響の予測及び評価の実施
- 2.2 健全又は重要な海域の特定及び保全
- 2.3 脆弱な海域のストレス要因の特定及び対策

3. サンゴ群集の再生の促進

- ・効果的な技術の検証・実証(高温耐性サンゴを含む代替技術の開発を考慮)

➤ サンゴ礁生態系保全行動計画2016-2020の重点課題に関する地域の取組強化

4. 「陸域に由来する赤土等の土砂及び栄養塩等への対策の推進」の強化

- 4.1 陸域からの環境負荷の低減の重点的実施
- 4.2 沿岸域の統合的管理の推進

5. 「サンゴ礁生態系における持続可能なツーリズムの推進」の強化

- 5.1 利用ルール、適正利用の普及啓発
- 5.2 利用者負担の仕組み作り

6. 「地域の暮らしとサンゴ礁生態系のつながりの構築」の強化

- ・多様な主体の連携・協働による環境教育、普及啓発の実施

➤ 基盤として重要な取組

7. 調査研究の促進

- 7.1 自然科学的・社会科学的な調査研究の促進
- 7.2 費用効果の高い対策の探求
- 7.3 長期スケールでの変遷理解

8. 地域の取組支援

- 8.1 関係者のネットワーク構築
- 8.2 地域内外からの事業者を評価する仕組み構築
- 8.3 人材育成及び配置

9. 地域横断的な連携推進

- ・サンゴ礁域外の地域の多様な主体も参画するネットワークの構築

➤ 気候変動対策と連携した取組

10. 気候変動対策の推進

- ・計画に基づく温室効果ガスの削減及び適応策の推進と国内外への発信

11. 普及啓発の実施

- 11.1 サンゴ礁生態系保全のための気候変動対策の重要性発信
- 11.2 国際サンゴ礁年2018を活用した国民運動